

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月22日

計画の名称	安全・安心な通学路を確保するまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山市												
計画の目標	歩行者、自転車の安全を図り、小中学生の交通事故死傷者数を減らす。 市が管理する通学路において、対策が必要な危険箇所を改良し、交通安全対策を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,104	A	1,104	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	5箇年における小中学生の歩行中、自転車乗車中の交通事故死傷者数を5%低減 岡山市内で発生する交通事故において、小中学生の歩行中、自転車乗車中の死傷者数（5箇年の総数）の低減率を算出する。 交通事故死傷者数の低減率 = (1 - 整備期間5箇年における小中学生の歩行中、自転車乗車中の死傷者数 / 整備前5箇年における小中学生の歩行中、自転車乗車中の死傷者数) × 100	0%	%	5%
2	通学路合同点検において、道路管理者が実施すべき要対策箇所に対し、対策を実施した割合の向上 対策箇所 / 要対策箇所	89%	%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	(2) 宍甘沼線ほか2路線 (流田一踏切)	歩道整備 L=0.6km	岡山市	■	■	■	■	■	453	—	—
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	(他) 西大寺南17号線ほ か(神武橋交差点)	交差点改良	岡山市	■	■	■	■	■	566	—	—
	A01-003	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村 道	交安	(2) 西大寺松崎久保線 (芳野橋)	歩道整備 L=0.1km	岡山市	■	■				85	—	—
											小計						1,104		
											合計						1,104		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	55				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	55				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %					
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な通学路を確保するまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 岡山市みちづくり計画。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標と適合性） 課題と目標は適合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ③整備計画の目標と定量的指標の整合性 計画の目標と定量的指標の整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性 指標は明瞭である。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性 全ての要素事業は目標を達成するためのものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 事業の効果見込みは妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性） 事業執行の環境は整っている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 地元との連携による事業効果が発現する。	○